

## 2025 WMH Asian Continental Championships 大会報告

2025 年 12 月 24 日

強化育成委員会

本大会は、香港フットボールクラブを会場として、11 月 26 日から 11 月 30 日までの 5 日間にわたり開催されました。競技カテゴリーは、女子 35+、40+、男子 40+、50+、60+でした。

香港での開催は一昨年に続き 2 大会連続となりました。2025 年度の開催地を引き受ける国がなかなか決まらない中、限られたカテゴリーとチーム数に絞り、開催期間を短縮する形で香港が立候補し、開催に至りました。香港ホッケー関係者の皆様には深く感謝申し上げます。

大会期間中の気候は概ね良好で、ホッケー競技に適した状況でした。大会初日の 26 日には香港市内の高層住宅群で火災が発生しましたが、大会運営への直接的な影響はありませんでした。ただし、犠牲者への哀悼の意を表し、以降の各試合開始前に 1 分間の黙祷が最終試合まで行われました。

大会には、日本から男子 50+および 60+の 2 チームが参加しました。

## 男子 50+

50+は、一昨年初参加したアジアカップ香港大会、昨年の World Cup ニュージーランド大会に続く参加となりました。今大会は参加希望者が 26 名と大幅に増加し、有力選手の加入もあり、年々チーム力の向上が見られました。

今大会では 2 試合目まで持てる力を十分に発揮しましたが、終盤にかけて負傷者が増えた影響もあり、勝ち切れない試合が続く結果となりました。決勝の対マレーシア戦では、まだ力の差がありましたが、選手一人ひとりが課題を明確に認識できた大会であったと考えます。

## 男子 60+

60+は、予選リーグにおいて香港と勝ち点および得失点差で並びましたが、総得点で 1 点下回り、3 位決定戦に回りました。予選リーグでは香港に勝利しており、また優勝したマレーシアに対しても惜敗と、優勝の可能性を十分に感じさせる内容でした。1 得点、1 失点の重要性をあらためて痛感する大会となりました。

本大会には、フィジオとして河西さん、榊岡さんに帯同いただき、試合に向けたコンディショニング調整に尽力していただきました。負傷が増える厳しい状況の中でも、治療により試合復帰できた選手が多く、心より感謝申し上げます。

なお、次回 Asian Championships の開催地は現時点では未定ですが、インドおよびマレーシアでの分散開催が検討されているとの情報があります。

## 各チーム成績

### 男子 50+

(山崎主将、大隅主務 以下 16 名)

香港、マレーシア、シンガポール、韓国、バングラデシュ、日本の 6 か国代表が参加。予選は各国が他の 3 か国と対戦する変則リーグ形式で行われ、勝ち点上位 2 か国が決勝、中位 2 か国が 3 位決定戦、下位 2 か国が 5 位決定戦に進む方式で順位が決定されました。

#### <予選リーグ>

・26 日 対 香港 3-1 ○

・27 日 対 韓国 7-0 ○

・28 日 対 シンガポール 0-1 ●

予選リーグ 2 位となり、決勝へ進出。

### <決勝戦>

・30日 対 マレーシア 0-3 ●

結果：6 か国中 準優勝

### 男子 60+

(高森主将、山出主務 以下 18 名)

香港、マレーシア、シンガポール、日本の4か国代表に加え、韓国およびニュージーランドの SoM チームを含む計6チームが参加。予選は各国が他の3か国と対戦する変則リーグ形式で行われ、国代表4か国のうち上位2か国が決勝、下位2か国が3位決定戦に進む方式で順位が決定されました。

### <予選リーグ>

・26日 対 香港 4-2 ○

・27日 対 マレーシア 2-3 ●

・29日 対 ニュージーランド (SoM) 1-2 ●

香港と同勝ち点、同得失点差で並びましたが、総得点で下回り 3 位決定戦へ。

<3 位決定戦>

・30 日 対 シンガポール 7-0 ○

結果：国代表 4 か国中 3 位（優勝：マレーシア）

以上